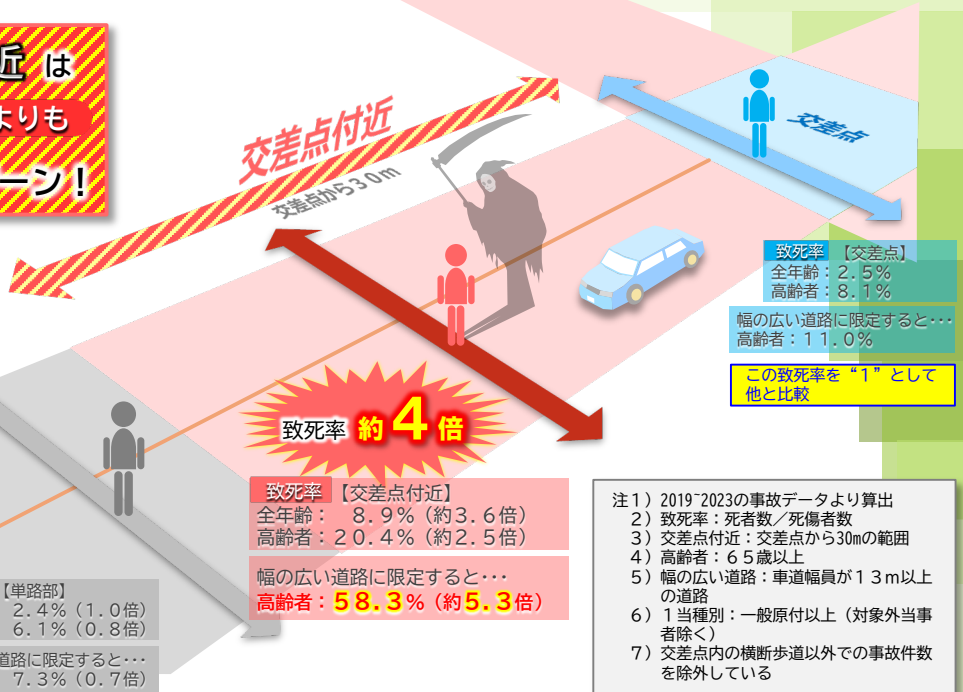


急がば回れ！

横断歩道のある
 交差点では

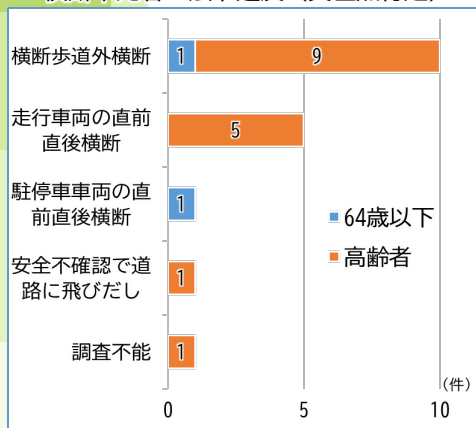
横断歩道を渡りましょう！

■道路を渡る時、最も致死率が高い場所は“交差点付近”で、何と交差点内の約4倍！



- “交差点付近”における横断中死者の法令違反は、“横断歩道外横断”つまり「近くに横断歩道があるのに近道をして亡くなった人」が最多、次いで“走行車両の直前直後横断”
- ドライバーは交差点（信号・歩行者・右左折車）に意識が集中しその前後の交差点付近では注意散漫となりがち。例えば対向車線の車両の死角から出て来た歩行者を発見できないなど。

横断中死者の法令違反（交差点付近）



(出典) 事故件数：2019～2023年の事故データより算出

対向車線側の死角から出てくる横断歩行者のイメージ



- 交差点付近では・・・
 ・ドライバーにとっては交差点に意識が集中（前後は注意散漫となりがち）
- さらに「夜間」は・・・
 ・ヘッドライトが照らす範囲外は極端に周辺状況が把握しにくい
- さらに「高齢者」は・・・
 ・視野が狭くなり周辺状況（車との距離や、車の速度）を読み取る機能が低下

“目の前の近道”より“これからの人生”を！

■ “急がば回れ”と言います。横断歩道のある交差点では、横断歩道を渡りましょう。

福岡県警察本部交通企画課統計分析係